

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立大道南小	学校
----------	----

児童数	34
-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.29	15.82	34.18	39.71	38.94	9.31	141.94	20.47	51.00
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	17.75	15.63	43.50	32.63	28.94	9.92	133.69	10.50	50.63
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における本校児童の結果は、男女別にみると、男子において、8種目のうち「握力」「長座体前屈」「50m走」の3種目において全国平均を上回った。特に握力と50m走においては大きく平均値を上回る結果となった。女子においては、8種目のうち「握力」と「長座体前屈」の2種目において全国平均を大きく上回る結果となった。しかしながら、「体力合計点」に注目してみると、男子では約2ポイント、女子では約3ポイント程度全国平均を下回る結果となった。次に質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して「好き」と回答する児童の割合は、全国平均との比較において、男子は7ポイント、女子は4.1ポイント下回ったが、「やや好き」も含めた肯定的な回答では、男女共に全国平均を上回り、男子においては「やや嫌い」や「嫌い」といった否定的な意見は0%であった。また、「1週間の総運動時間が60分未満」の児童の割合は、特に女子において、30%程度と全国平均より14%程度多い結果となった。しかし、これは、学校外での運動クラブなどの習い事を行っているかどうかが大きく作用した結果だと考えられる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度、本校においては、運営の計画において最重要目標の一つとして「未来を切り拓く学力・体力の向上」に取り組み、なわとび週間やかけあし週間などを通して、運動することの楽しさや、できなかったことができるようになる達成感、友達と教えあい励まし合うことの喜びを味わわせることで、運動やスポーツをすることが好きと思える児童の育成を目指してきた。その結果、今回の調査では、運動やスポーツが好きという質問に対し、男子は100%が肯定的に回答しており、女子においても87.5%が肯定的な回答をしている。これは大きな成果である。

一方、課題としては、全国平均値と比較して運動能力が低いことがあげられる。平均値を超えている種目はあるものの、体力合計点では男女とも全国平均・大阪市平均を下回った。大きな原因として、運動を行う機会が少ないことが考えられる。体育科の学習で如何に運動量を確保するか、また、学校外でも自ら進んで運動に親しもうとする児童の育成があげられる。